



地域がん診療連携拠点病院・災害拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念

135年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針



患者中心医療

患者の人権と
意思を尊重します

患者診療3本柱

がん・救急・
予防医療を中心に
医療機能の
充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関
との連携を行い
安心できる医療の
展開を行います

社会貢献

災害医療派遣・
医療情報公開・
医療ボランティアの
活動を行います

医療人育成

医療に携わる
喜びが持てる
医療人の育成を
行います

人吉総合病院 本館棟 竣工



平成25年11月22日(金)大安吉日、人吉総合病院 本館棟が竣工いたしました。大変ご迷惑をお掛けしておりました駐車場および玄関の整備も整い、風除室そして大きな庇(ひさし)(屋根)が出来上がりました。また、放射線治療棟へ続く連絡通路・増築棟も完成し、一連の病院建替え工事が終了しました。平成23年1月の着工から約2年10ヵ月の間、ご来院・ご入院の皆さま、そして地域住民の皆さまには温かく見守っていただき、この日を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

病院建替え事業としましては平成21年度から本格的に計画がスタートし、平成22年3月に設計・株式会社内藤建築事務所、同12月に施工・大成建設株式会社が決まり、関係者各位および病院スタッフの皆さんにも長期間に渡ってたくさんのご協力・ご尽力をいただきました。ありがとうございます。

今後も病院は変化し続けます。これからもどうぞよろしく願い致します。

経理課 那須 智子

緩和病棟開設 10 周年を迎えて

当病棟は今年8月で丸10周年を迎えました。これもみなさまの御協力、御支援の賜物だと痛感しております。この場を借りましてお礼申し上げます。

H15年4月の開設にあたってスタッフ全員が熊本地域医療センターで研修させていただき、スタッフ全員が同じ志の下、開設に携わらせていただきました。私は開設まで一般病棟で多くのがん患者さんを看取ってきました。急性期の中で終末期の患者さんへのケアを行っていましたが、深くまで関わる事はありませんでした。研修に行かせていただいたからは、緩和ケアに携わる気持ちが大きく変化しました。「その人らしく最期を迎えられるように援助する。そしてその人らしく生きられるように援助する」ことを目標に緩和ケアを行うようになりました。開設当時は、病床数6床で医師（鈴木先生）、看護師、ソーシャルワーカー（南さん）、薬剤師、栄養士、リハビリの方と連携しながら病棟を軌道に乗せていました。一般病棟にない3時のおやつ、毎月のイベント、誕生会、結婚記念日など、大切な思い出作りに思考錯誤しながら一生

懸命取り組みました。今、走馬灯のように蘇ります。自分自身当初より勤務しており、精神的にも落ち込んだりする時もありましたが、スタッフ同士で支え合い今日まで続けることができました。

今年、5月には新病棟へ移転し現在15床で運営しています。緩和ケアの考え方も少しずつ変化していますが、どの場面であっても緩和ケアや看取りに携わる看護の姿勢（ホスピスマインド）は変わることはないと思っています。

先日行われました、医療マネジメント学会 展示部門では当病棟の上野科長が「看取りのパス」で優秀クリティカルパス賞を受賞されました。普段私達がおこなっている内容となっています。私達もさらに努力を重ね、緩和病棟がより地域に貢献できるように頑張りたいと思います。

8F 病棟 看護師 安達 良子



臨地実習での学び

私たちは、緩和ケア認定看護師を目指し久留米大学認定看護師教育センターから来ました。3カ月間の座学を終え、知らない土地での生活、初めての緩和ケア病棟ということもあり期待と不安と緊張がめぐる中、優しくあたたかく迎えて頂きました。緩和ケア病棟では、講義で学んだ“ホスピスマインド”を目の当たりにし最初はその雰囲気戸惑いました。病気ではなく、患者さん家族の生活が主体であること、医療機関という環境の中で実際にさまざまな価値観を持つ患者さんやそのご家族に添うには限りがあると思います。しかし、関わるスタッフ、病院全体がそうした意識を持ち、関わることによって少しでも生活に寄り添うことが出来る、そして寄り添う為にどうしたらよいか常に模索していることを感じました。また、患者さんご家族のQOL向上の為に多職種の協働なくしては叶えられないこと、実際に協力し働きかけることの力強さも痛感する事が出来ました。私たちは常に対人間の環境にあり、患者さん家族だけでなくスタッフひとりひとりとの対人関係の連続です。個々の価値観

を大切に、やりとりを続けていくことで相互の信頼関係が高まり、達成できるようになることや心が癒えることを知るとともに、講義や資料だけでは学ぶことが



出来ない実際の関わり、実践的技術について多くの学びを得ることができました。がん患者の増加に伴い、社会全体でも緩和ケアの普及が求められる中、医療機関内では多くのスタッフがジレンマを抱く事が少なくない領域でもあります。今回の学びを活かし今後も知識や技術の向上に励み、他者と共有することで一つでも多くの苦痛が緩和されるよう努めていきたいと思っています。実習にあたりお忙しい中たくさんの方々にご教授いただき、本当にありがとうございました。

久留米大学認定看護師教育センター
緩和ケア分野学生
相田 智恵子・田中 香織

地域医療研修を終えて

地域医療研修の一環として五木村診療所で5日間の研修をさせていただきました。五木村は初めて訪れましたが自然が多く、住民の方も優しく研修前日に道に迷ったときに丁寧に教えていただいたりして、いいところに研修に来ることができたと感じました。

研修ではこれまでとは大きく異なり、患者さんの年齢層や疾患が違い、最初は戸惑いを隠すことができませんでした。外来では主に定期処方や外傷の処置を見学や補助を行った他、受診した方の実際の診察をさせていただきました。済生会熊本病院の時とは違い、患者さんの家族や社会背景の占める割合が大きく、それを考慮した上

で診療を行う先生方の姿は大変勉強になりました。また、往診では私が考えていた以上に五木村診療所のカバーする範囲が広いことに驚き、また超高齢者の生活背景や実情を知ることができました。水曜日には人吉総合病院の救急外来で研修を行いました。エコーの性能にも驚き、場所も変わって新鮮でいい刺激となりました。

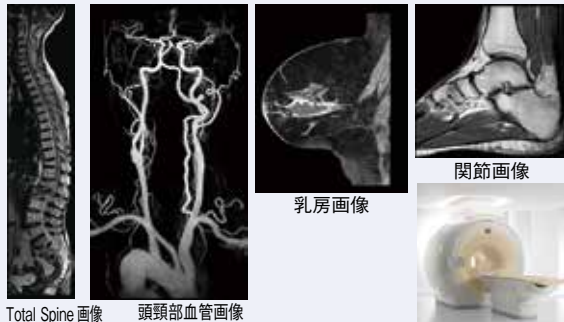
5日間という短い期間でしたが、大変濃い研修を行うことができ感謝しております。

最後に指導していただいた先生方をはじめ、五木村診療所や人吉総合病院のスタッフの方々、五木村の住民の方々に心からお礼申し上げます。

済生会熊本病院 臨床研修医 植原 哲史

最先端 超電導磁気共鳴診断装置 3.0T MRI 導入の御案内

画像診断センターでは、今年5月の新病院にあわせて最新機種3.0TMRI装置を導入しました。従来の1.5TMRI装置と合わせて2台体制で運用しております。また、検査枠に余裕ができ、比較的速やかに検査をお受けすることが可能になっております。



3.0TMRI装置の特徴としましては、従来の装置の2倍の静磁場強度を有するため高分解能撮像や短時間撮像で今まで以上に詳しく検査を行うことが可能になりました。また、画像がきれいに撮れるだけでなく機能的な検査も出来るようになりました。

撮影装置の開口径が70cmと広くなり、体格の大きい方はもちろん、痛みなどで仰向きに寝ることができない方の苦痛を低減します。この大きな開口径により、狭いところが苦手で検査を受けられなかった方の不安もやわらげます。

頭部領域、例えば脳血管の描出にも有用で高い分解能の画像により脳血管の細かい部位まで鮮明に描出されています。血管の狭窄や小さな動脈瘤の検出に有効です。

また、腹部、骨盤領域の諸臓器の検査にも有用です。胆管や膵管など造影剤を使用せず描出することも可能で、胆道系や膵臓の疾患にも役立ちます。

さらに各関節領域（手、足など）においても、従来の1.5T装置に比して関節軟骨の変性などが、より明瞭に描出されます。

画像診断センター 診療放射線技師 吉松 泰浩

ストロングエルゴ8の紹介

体力の低下した方からアスリート並みの体力強者まで、安全で正確な運動強度に基づく運動が出来ます。正確な運動強度で運動することで、より短時間で効果のある運動が可能となります。

体力の低下した方に対して、殆ど漕ぐ力を必要としない0Wからの負荷を実現しただけでなく、ペダルを回しにくい角度はアシストし、回し易いところで運動（負荷）できる機能を持っています。このことにより自転車に乗ったことのない人、膝、腰に痛みのある人でも安心して運動が可能です。また電動サドルを採用していますので椅子の上下が簡単に出来、乗り降りも簡単に出来る設計になっています。

またこのエルゴメータは、運動が続かない方、術後の方、筋力強化したい方のために、自分のペースで運動できる等速度運動を備えています。この運動モード（等速度運動）を利用し、

脚力の回復のためのインターバルトレーニングができます。筋力強化できることが分子論的（筋肉骨格増強因子 c-Fos RNA）に確認されています。

このエルゴメータを利用した正確な運動強度での運動で、血管の弾力性の回復、肥満の予防、血圧の降圧をより効果的に実現できるだけでなく、インターバル運動によって、脚力を回復し少しでも日常生活を楽しみましょう。

心臓リハビリ室 濱田 真理



汚物処理再生システム導入

当院は平成25年4月に完成した11階建て本館病棟に、汚物処理再生システムを供えました。汚物処理再生システムは1槽シンクシステム、汚物流し、ダストボックス、自動汚物容器洗浄装置（以下、ベッドパンウォッシャーとする）で構成しシステムとして連結させ設計導入しました。

汚物容器処理の用手洗浄・消毒による効果のムラ、汚物廃棄時の水はねによる環境汚染、飛沫による作業者の曝露といった問題を解決。洗浄消毒業務の省力化や安全性を向上させることが可能となりました。

ベッドパンウォッシャーは、汚物が入ったまま直接装置内へ挿入し洗浄消毒の全工程を自動で行います。汚物流しはすり鉢型で水の跳ね返りがなく、流し槽に汚物が残りにくい構造のものとし、システムシンクは、やや深めに飛沫が起りにくい構造とし、周囲に収納棚をとりました。また、処置・ケア後の感染性廃棄物を清潔区域に持ち帰ることがないように分別廃棄・管理するためのダストボックスを設置し消臭機能を設けました。汚物処理室は拡散防止区域であり、不快な臭気がないよ

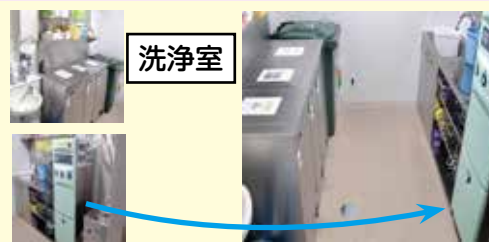
うに24時間強制換気により管理しています。

このシステムは、感染防止・作業効率・作業動線に配慮した汚物再生処理システムとして、県内初の導入となりました。

感染管理認定看護師 別府 るみ

構成：NITI-ON

- ・自動汚物容器洗浄装置（ベッドパンウォッシャー：verde）
- ・システムシンク（特注ステンレス製 SUS304）
- ・汚物流し（特注ステンレス製 SUS304）
- ・収納（特注ステンレス製 SUS304）
- ・ダストボックス（特注ステンレス製 SUS304）消臭機能付き



屋内消火栓大会

11月15日下球磨消防署にて屋内消火栓大会が開催されました。当院からは新入社員女子3名のチームで参加しました。3名とも未経験者で不安もありましたが、本番までに幾度か練習を重ね、消防署の方に指導していただいたことで自信がついていきました。練習していく中で改めて連携の大切さを実感し、連携によって火災が発生した際に迅速な対応ができるのだと思いました。

本番では練習では出すことができなかった29秒台の好タイムを出すことができ、結果女子10チーム中3位で入賞することが出来ました。この経験を活かし、実際に火災が起こった際には率先して消火活動を行いたいです。また、私たちが中心となり、今後周囲の人々の火災に対する意識を高められると良いと感じました。

臨床検査技師 溝口 真依



物故者合同慰霊祭

11月5日(火)香花堂人吉斎場(駒井田町)にて、昨年10月1日～本年9月30日の間に当院でお亡くなりになられた386名の方々のご遺族をお招きし、



当院職員出席のもと合同慰霊祭が執り行われました。

慰霊祭では、故人を偲びながら、ご導師による奉読、参加者全員によるご焼香、そして最後に病院長より慰霊の辞を述べさせていただきました。心よりご冥福をお祈りいたします。

統計では、年齢別に見ますと70歳以上の高齢者の死亡の割合が高く、75%となっており、疾患別では悪性新生物が46%、次いで循環器疾患、呼吸器疾患の順となっております。中でも肺炎は高齢になるにつれ、高い死因の一つとなっております。

このような現状を受け、今後とも良い医療を提供するとともに地域包括ケアの充実も図っていきたくと考えております。

庶務課 岡崎 りえ

平成25年度 第1回 災害医療従事者研修

去る、10月28日～30日 東京都立川市国立病院機構災害医療センターに於いて平成25年度第1回災害医療従事者研修が開催されました。当院からは、薬師寺副院長、福島薬剤部長、田代・藤原看護師および庶務課谷口の5名で受講しました。

全国、北は秋田から、南は沖縄まで16施設のチームが集まり、熊本からは山鹿市民医療センターも参加でした。講義、実習、シミュレーションと多種多様な研修を3日間受講し、懇親会の時にはすっかり親しくなっておりました。後日お疲れ様メールを頂き、今後の良き相談相手ができただけでも今回の研修の成果だと思っています。

庶務課 谷口 純子



院内ビーチバレーボール大会開催

11月22日(金)スポーツパレスにおいて院内ビーチバレーボール大会が開催されました。

部署ごとにチームを組み、ユニフォームを作ったり仮装したりと思い思いの装いで試合に挑みました。全36チームから、今年は7階外科病棟の「神7」が見事優勝に輝きました。

ひとつのボールを皆で一生懸命追いかけ、笑いあり涙ありのひと時でした。大会では普段顔を合わせる事が少ない部署の方とも楽しく接することがで

き、またプレー中には仕事に見られないメンバーの新たな一面を垣間見ることができました。

今後もより一層職員との連携を深めていきたいと思えます。



医療福祉連携室 杉松 紗織

お知らせ

12月14日(土)人吉市カルチャーパレス小ホールにおきまして、健康保険人吉総合病院第16回研究発表会を開催致します。また、研究発表会後は“清流山水花あゆの里”に会場を移し、18時～総親会忘年会を行います。職員の皆様他、多数ご来場下さい。

第16回 健康保険人吉総合病院研究発表会プログラム

2013.12.14 於：人吉カルチャーパレス小ホール

No	演題名	演者
第1セッション		
1	人工関節置換術における退院支援 ～MSWによる術前介入の必要性の検証～	田頭 隼人
2	COPDを合併した心疾患患者への栄養指導介入	田口 ゆり
3	包括的心臓リハビリテーションにおける臨床検査技師の役割	谷脇 佳奈
第2セッション		
4	進展口腔がんに対するMohsベーストの使用経験	石神 哲郎
5	大腸内視鏡検査前処置法の検討 ～大腸検査食の併用による腸管洗浄液(ニフレック®)減量と受容性の高い検査食の検討～	早田 麻由美
6	救急搬入の夫に付き添った妻が救急車で脳出血を起こした症例	杉松 幸太郎
第3セッション		
7	病棟業務実施加算申請のための薬剤部業務改善	高橋 奈津子
8	院内PHSを用いた外来呼び出しシステムの導入	日當 幸治
9	複数外来診療室による外来診療の導入とアンケート評価	嶋原 由美子
第4セッション		
10	海外研修報告	下川 恭弘
特別講演		
『これまでの先駆的な取り組みとこれから(仮)』		
一般事業財団 厚生年金事業振興団 湯布院厚生年金病院 前院長 森 照明 先生 (現職：社会医療法人敬和会 大分岡病院 院長)		

第6回人吉総合病院 フェスティバルを開催致します

この度病院工事が終了し、人吉総合病院フェスティバルも第6回目を無事迎えることができました。今年は各部署の展示・地元企業協力による販売等に加え、地元の本館3階講堂において、人吉幼稚園の発表、人吉市立第一中学校のブラスバンド演奏、当院緩和医療センター長 西村卓祐先生による市民公開講座など、ステージ内容も盛りだくさんとなっております。皆様に楽しんで頂けるよう職員一同頑張りますので、是非ご来場下さい。

※ 朝より災害訓練も開催致します。

日時：12月8日(日) 11:30～15:30

場所：健康保険人吉総合病院

【お問合せ】TEL 0996-22-2191

URL <http://www.hitoyoshi-hp.jp>

周辺地図



笑って健康促進！
第94回 翔幻会開催！

平成二十五年十月分開催分の句をご紹介します。
どうぞ、ご鑑賞下さい。

川柳句会「翔」平成二十五年十月分

- 脳ドリル終えて薬は飲み忘れ 圭子
- 小銭投げ十指に余る願いかけ 圭子
- 人の名の脳のしわ奥隠れおり 圭子
- バーゲンセール体型忘れ買いあさり 圭子
- あの世では苦勞のむかしはなします 詠み人知らず
- ありがとつと言言葉に感謝する 智子
- 認知症昔のことは忘れぬ 智子
- 幻の味となるかもうなぎめし 緋紗
- 指きりの「忘れないうで」が耳にある 緋紗
- 出会った日あのとときめきは忘れぬ 佐津子
- 夜勤あけ朝日さすとき安心す なな
- 輝いていますね年齢忘れてる 西村比呂志
- 峠から秋を知らせる色になり 西村比呂志
- プレゼントいただけるならあれよねえ 章子
- 青春の淡き初恋忘れぬ 章子
- ドクターの必死の介護忘れぬ 章子
- 限りなく命輝くボランテニア 章子
- 忘れぬ悪夢のような闘病を 章子
- 忘れたそれが何だかわからない カツ子
- 裏の顔チヨッピリ見えて忘れぬ レイ
- 忘れないトンボ取ろうと川ダイブ 優作
- こんなにはああい元氣いい子だね 優作

次回も第四木曜日に開催となります。平成二十五年十一月二十八日(木) 十四時から本館二階図書室で開催致します。
ご自由にご参加下さい。投稿のみの参加もできます。院内設置の投稿箱にご投稿下さい。

新任紹介



矢立 智春 (9階・助産師)

最終卒業校：福岡県立看護専門学校

趣味：ヨガ

好きな言葉：みんなちがって、みんないい。

自分のコマーシャル：助産師の仕事が大好きで、人吉総合病院で働けることになり、大変うれしいです。よろしくお願ひします。

フレッシュマンセミナー報告

- 11/ 7(木) 三上 加代子 『大野勝彦「詩画集」』
- 11/14(木) 木淵 優子 『NON STYLE』
- 11/21(木) 根笹 真由美 『AGEと老化の関係』
- 11/28(木) 中西 麻与 『パンダネズミについて』

11月の勉強会報告

11月14日(木)第73回 消化器カンファレンス

1.「胃X線検査によるHP感染性胃炎疑い例の取り扱いについてのお願ひ」

人吉総合病院 予防医療センター

センター長 合志 秀一 先生

2.「化学療法中に判明したHBV既往感染の1例」

人吉総合病院 矢立 雅章 がん化学療法看護認定看護師

3.「サイトメガロウイルス肝炎の一例」

人吉総合病院 消化器内科 西村 淳 先生

11月29日(金)南九州3県の県境地域周産期医療講演会

講演 人吉総合病院 産婦人科 医長 瀬戸 雄飛 先生

特別講演 宮崎大学医学部 生殖発達医学講座

産婦人科学分野 教授 鮫島 浩 先生

緩和ケア病棟室料・2床部屋 室料差額廃止について

11月6日より、緩和ケア病棟室料差額を廃止し、疼痛コントロールや症状緩和が必要な患者さんが緩和ケア病棟を利用しやすいように致しました。また、一般病床の2床部屋の室料差額につきましても12月1日より廃止予定となっておりますので、併せてお知らせいたします。

熊本県南初のPET/CT検査を開始！

12月17日(火) 開始

検査日：火・木曜日

検査費用

保険適用で約3万円前後。

お問い合わせ先

画像診断センター

0966-22-2191(代表)

ご不明な点がございましたら、お気軽にお尋ね下さい。

